

開講科目名 / Course	生物統計学	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	野津 昭文	
担当教員名 / Instructor	野津 昭文、岡田 悠希	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	統計学の基礎知識と考え方を習得する。収集したデータを分かりやすく記述する方法や、データの背後に潜む法則性を推測するための基本的な手法について学ぶことで、EBNを実践するための基礎能力を養う。	
到達目標	1. 基本的な記述統計、確率分布、推測統計の考え方を説明できる。 2. 基本的なデータ解析を実践できる。 3. 基本的な統計学を利用した研究の成果を適切に解釈できる。	
DPとの対応	2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、6.探究心と創造力	
授業計画	01. 記述統計(1) 尺度、代表値 02. 記述統計(2) 散布度、平均と分散の性質 03. 記述統計(3) クロス表、関連の指標 04. 記述統計(4) 相関係数、回帰直線 05. 確率分布(1) 離散型確率分布 06. 確率分布(2) 連続型確率分布 07. 推測統計(1) 推定 08. 推測統計(2) 仮説検定 09. 推測統計(3) 仮説検定各論 10. 推測統計(4) 推測統計のまとめ	
その他の授業の工夫	1年次必修科目「健康情報処理演習」とこの講義をリンクして、理解を深める。	
時間外学修	事前学修：次回の学習内容について配布資料を用いて予習を行う（7h）。 事後学修：各回の内容に沿った小テスト、課題および配布資料を用いて復習を行う（12h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験80%、数回のレポートまたは小テストの合計20%	
テキスト	適宜、資料を配付する。	
参考書	看護師のための統計学（共立出版） 入門 統計解析法（日科技連） 弱点克服 大学生の確率・統計（東京図書）	
履修する上で必要な要件		
その他	高校までに学習した数学の知識を本講義の前提知識とする。また、健康情報処理演習において、表計算ソフト、統計解析ソフトを用いた演習を行う（その部分の評価は健康情報処理演習に含む）。	
教員の實務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の實務経験	有・無	無
	内容	
實務経験をいかした教育内容		